

## 夢に向かって 金ヶ瀬出身ランナー鈴木澄子さん 母校で講演

5月12日、金ヶ瀬中学校で金ヶ瀬出身のランナー鈴木澄子さんを講師として招いての「夢・慈愛講演会」が開催されました。

講演では「体調管理などつらい時もあったが、つらければつらいほど、その分目標を達成できた時の充実は大きい。夢をかなえるためには、自分を信じる、指導してくれる人を信じるのが大事」と鈴木さん。前日に行われた仙台国際ハーフマラソン大会を競技人生の一区切りとしていた、と振り返りながら、後輩の金中生たちに「皆さんのおかげでここまで頑張ることができた。悔いのないように、スポーツでも勉強でも一生懸命がんばってほしい」と感謝を込めたメッセージを贈ってくれました。



▲質問タイムでは、鈴木さんの学生時代の部活やこれからの夢についての質問がありました。



▲講演後は競歩教室と体幹トレーニング講座が行われました。



▲力自慢の皆さんによる、手に汗にぎる戦い！

## 綱引きで真剣勝負

### 総合体育館で第14回T-1グランプリ開催

4月27日、総合体育館で、東日本大震災復興支援綱引大会「T-1グランプリ2014（主催：大河原綱引協会）」が開催されました。

今回は、東北6県から男子、女子、混合の3部門に分かれて18チームが参加。選手たちが、これまで練習に励んできた成果を発揮するのは今とばかりに、一本の綱を双方から全力で引っ張りあうさまは、見ていて思わず引き込まれるようでした。

試合が終わったあとは、スポーツマンらしく、お互いのチームの健闘をたたえあっていました。

## いじめを目にしたら

### 大河原中学校で「人権教室」開催

5月15日、大河原中学校の2年生を対象に、相手を思いやる心や命の大切さ・尊さを学ぶ「人権教室」（主催：大河原人権擁護委員協議会）が行われました。

授業では「いじめ」を題材にしたDVDの上映や作文「それでも僕は桃を買う（中学生人権作文コンテスト総理大臣賞）」の朗読が行われました。また、人権擁護委員の小笠原一彦委員は講演で「悩んだときには信頼関係のある人や人権擁護委員に相談してほしい」と呼びかけ、生徒たちは熱心に聴き入っていました。



▲いじめを目にしたとき何ができるか、真剣に考える生徒たちの姿が印象的でした。

## あでやかな舞で魅了

### 第26回大河原舞踊まつり

4月27日、大河原町文化協会舞踊部主催の「大河原舞踊まつり」が中央公民館で開催されました。

この催しは、日頃のけいこの集大成として毎年開かれているもので、会場は愛好者で毎回満員御礼の大にぎわいとなります。

舞台の幕が上がると、和服姿の出演者が登場。音楽に合わせて、あでやかな舞いや踊りを披露すると、場内からは大きな拍手や歓声があがり、たいへんな盛り上がりとなりました。



▲舞台上では、出演者の皆さんが、日ごろの練習の成果を堂々と披露しました。



▲それぞれの地域で長きにわたり唄い継がれる民謡を心ゆくまで楽しむことができました。

## のびやかな歌声に感動

### 第40回大河原民謡まつり

5月18日、大河原町文化協会民謡団体に加盟する皆さんが一堂に会する「大河原民謡祭」が中央公民館で開催されました。

和服や法被に身を包んだ出演者の皆さんが、尺八や三味線の伴奏に合わせ、「津軽山唄」や「関上大漁唄」など全国各地に伝わる民謡を迫力のある声や独特の節回りで表現していました。

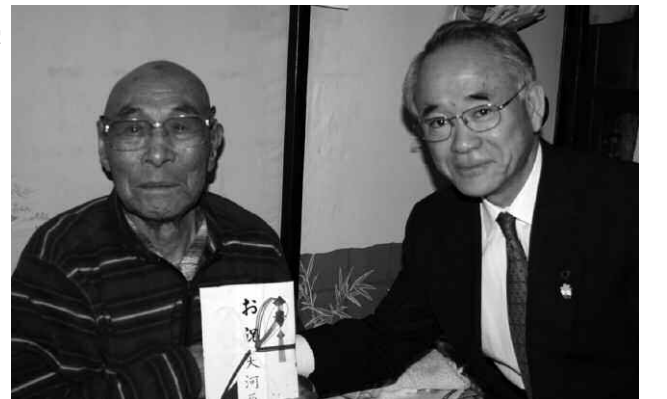
会場に訪れた民謡愛好者の皆さんは和の調べに浸りながら、唄い終えた出演者一人ひとりに大きな拍手を送っていました。

## いつまでも元気で

### 大槻次雄さん 100歳おめでとうございます

5月10日に100歳の誕生日を迎えた大槻次雄さん（上町2区）に、同12日、町から敬老の意を表してお祝いがありました。

角田市出身の大槻次雄さんは、戦時中は満州（現在の中国東北部）やシベリアで過ごし、大河原町には30年程前から住んでいるとのこと。ご家族の話では、若いころは仲人を100組以上務めるほど世話好きだったそうです。これからもどうぞお元気で過ごしてください。



▲好きな食べものは「塩分控えめの味噌汁とワカメ」。これが長生きの秘けつかも!?

## スポーツ☆ニュース (敬称略)

- 大河原町春季ゲートボール大会 開催日 4月23日 会場 大河原公園  
優勝 新開 準優勝 原前 第3位 金ヶ瀬 第4位 丑越
- 大河原町長杯春季ソフトボール大会 開催日 4月27日・4月29日 会場 南小グラウンド・大河原公園  
優勝 中町 準優勝 金ヶ瀬一区 第3位 オール原前